

ニッポンの介護に、次の風を。

ワーキングケアラーサポートサービス

ケアラケアの取組紹介



株式会社NTTデータ ライフデザイン

株式会社 NTTデータ ライフデザイン

NTT DATA Life Design Corporation

NTTデータ ライフデザインは、NTTデータが「生活者を起点とした社会課題の解決」を目指して設立した事業会社です。着目した社会課題は、「仕事と介護の両立困難」。働きながら介護をする「ワーキングケアラー」は年々増えており、2025年10月より、ワーキングケアラーをサポートするサービス「ケアラケア」の提供を開始しました。

設立年月日	2025年8月5日（事業開始 2025年10月）
本社所在地	東京都江東区豊洲3-3-3 豊洲センタービル
代表者	代表取締役社長 濱口 雅史
資本金	資本金：300百万円 資本準備金300百万円
事業内容	<ol style="list-style-type: none">1. 労働者働者による介護に係る調査報告、セミナー、研修及びコンサルティング2. 介護保険法適用外での通勤介護、身体介護、生活援助、見守り、その他介護サービスの提供、紹介、斡旋又は取次ぎ3. 育児介護休業法その他関連法令に基づく支援及びコンサルティング4. 電気通信事業法に定める電気通信事業5. データ通信システム及びソフトウェアの設計、開発、保守、販売、賃貸及びデータ加工・販売6. 著作権、工業所有権、ノウハウその他の知的財産権の取得、利用方法の開発、使用許諾、管理及び譲渡並びにこれらの仲介7. 前各号に附帯関連する一切の業務
従業員数	9名（2025年10月1日時点）

10月より、「ケアラケア」始動

介護もキャリアも
うまくいく

介護もキャリアもうまくいく

CARE la CARE

ケアラケア

2023年
秋頃～

検討開始

2025年
6月

事業化承認

8月

NTTデータ
ライフデザイン
設立

10月

事業開始

10月24日

報道発表

NOW



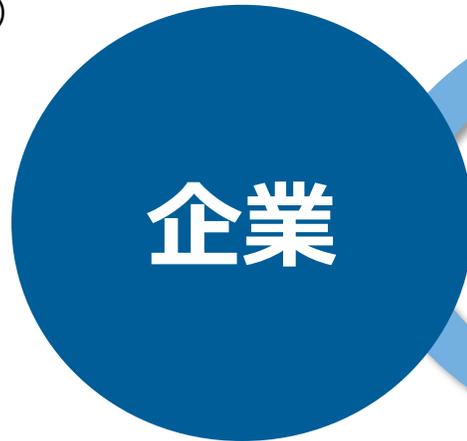
社会課題：仕事と介護の両立困難

経済損失(2030年推計)

9.2兆円

10万人

介護離職者/年



ワーキングケアラー
(2030年推計)

300万人

企業の経営課題（人的資本維持・企業価値向上）の解決と
従業員ひとりひとりの状況に応じた介護両立支援を
一体的に解決するサービスの構築

01 介護両立支援を取り巻く環境

02 ケアラケアのサービス概要

Appendix

**“ワーキングケアラーの声”から生まれた
個人向けサービスの概要**



01

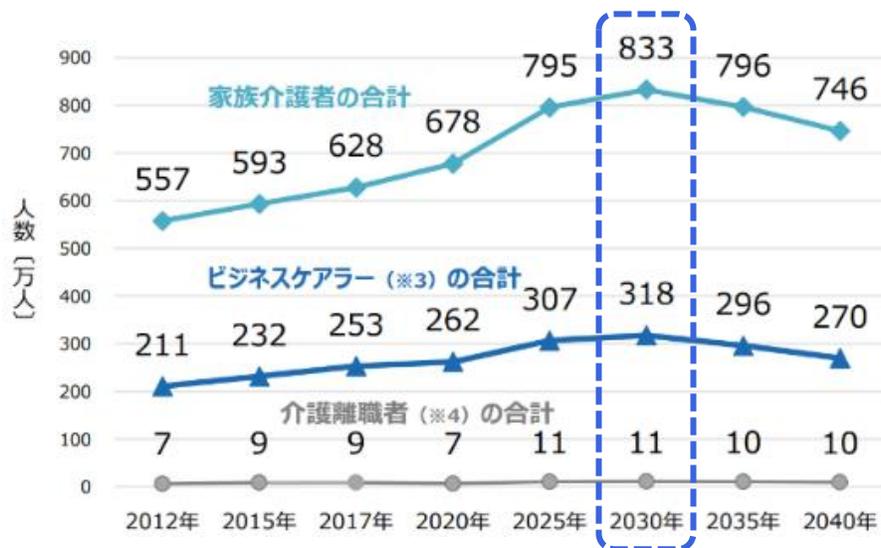
介護両立支援を 取り巻く環境

「仕事と介護の両立困難」の深刻化

超高齢社会に伴い、従業員だれもが経験する「親の介護と仕事の両立困難」は年々深刻化

出所：経済産業省 新しい健康社会の実現（2023年3月）

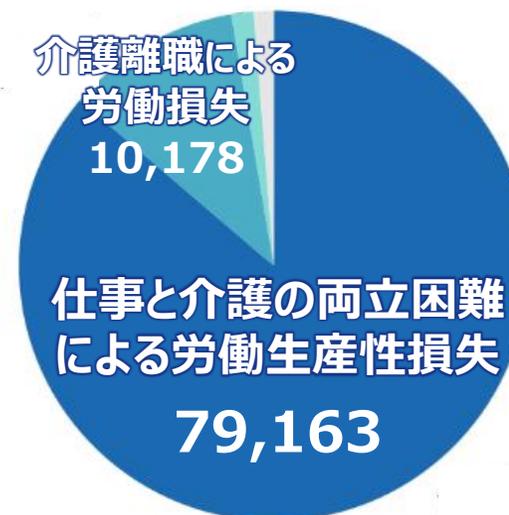
家族介護者数の推移



2030年には、家族介護者の4割が仕事を主とするワーキングケアラー

2030年における経済損失

単位：億円



経済損失：9.1兆円

大企業1社あたり年間損失額：6.2億円
(製造業、従業員数3千名の場合)

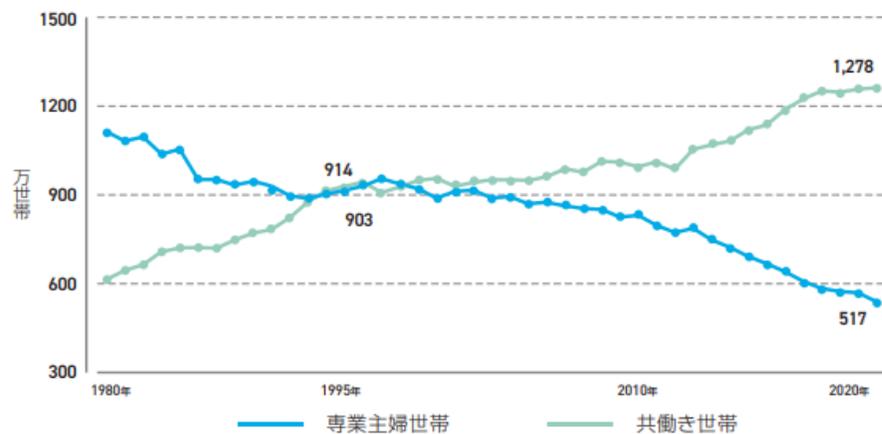
仕事と介護をめぐるパラダイムシフト

「共働き増加による介護の担い手の変化」と、「企業における人材不足の慢性化」により、
介護は企業が時代を乗り越えるための必須アジェンダとして捉える必要がある

出所：経済産業省：仕事と介護の両立支援に関する経営者向けガイドライン

共働き世帯のデファクト化による担い手の変化

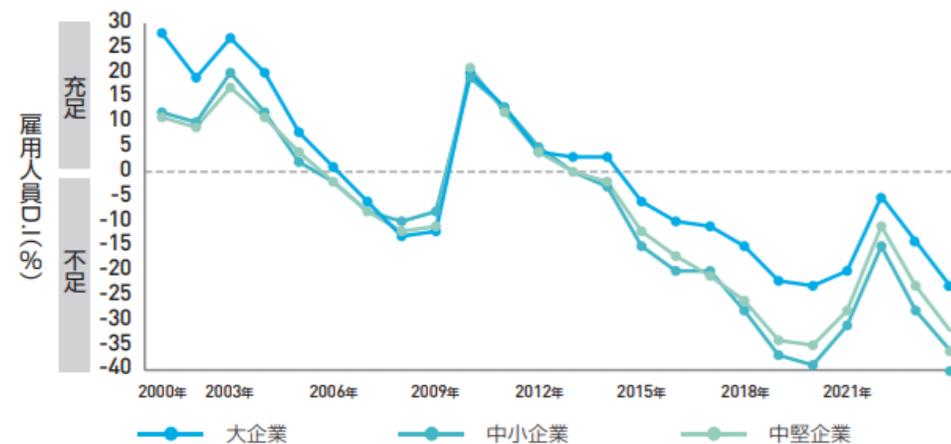
共働き世帯化により、介護の担い手は「実子」へ



出所:独立行政法人労働政策研究・研修機構

企業における人材不足の慢性化

いずれの企業においても人材の希少性が高まる



出所:日本銀行「短観(全国企業短期経済観測調査)時系列データ 雇用人員D.I.]を基に作成

仕事と介護を巡るパラダイムの変化が求められている

配偶者と連携して介護負担を家庭で担うなど、
介護は従業員個人の範囲で対応可能

働く誰もが介護の担い手になり得る人材不足の中、
介護は企業が時代を乗り越える必須アジェンダ

介護両立支援の意義

企業価値の向上や、事業・組織運営のリスクマネジメントの観点から、介護両立支援に取り組む意義は大きい

出所：経済産業省：仕事と介護の両立支援に関する経営者向けガイドライン

企業価値向上に向けて(人的資本経営の実現)

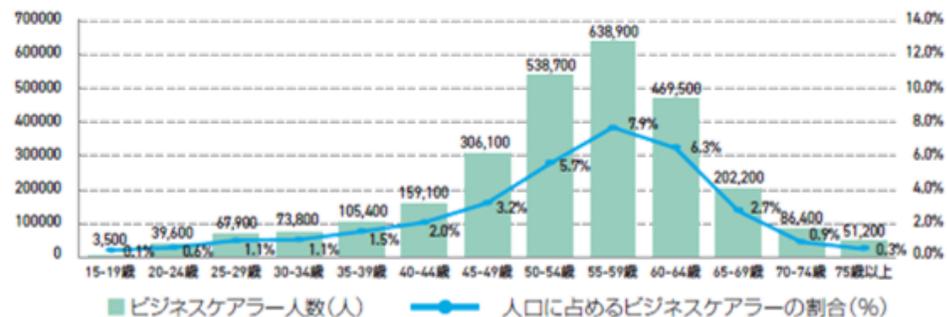
- 中長期的な企業価値向上に向けて、人的資本経営の一環として、「仕事と介護の両立」についても改めて、経営戦略と連動した人材戦略の一部として位置づけていくことが重要
- こうした人的資本に関する取組が進むことにより、「健康経営」や「DE&I(ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン)」の文脈においても効果が見込めるものとなる



人材不足に対するリスクマネジメントとして

- ライフプランが多様化する日本社会においては、従業員の年代構成にかかわらず、仕事と介護の両立支援は全ての企業が取り組むべき重要な課題
- 今後ますます人材不足が加速する中、人材戦略としてのビジネスケアラー支援は個人のキャリア継続だけでなく、持続的な事業・組織運営におけるリスクマネジメントとなる

年齢階層別のビジネスケアラー人数と人口に占める割合(2022年10月時点)

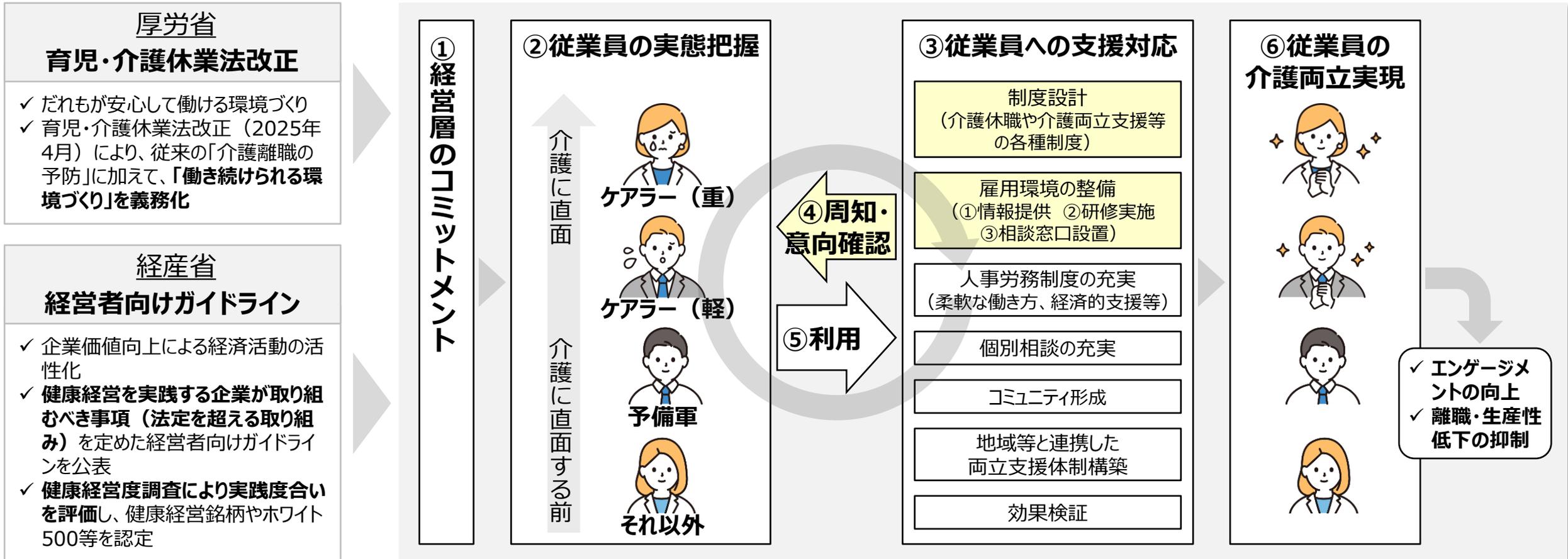


※出所:総務省統計局「人口推計(2022年(令和4年)10月1日現在)」「令和4年就業構造基本調査」

※総務省「令和4年就業構造基本調査」より、「仕事が主な責」かつ「介護をしている」と回答した方をビジネスケアラーとして定義して算出

「介護両立支援」に求められる姿

厚労省： 育児・介護休業法改正により、「働き続けられる環境づくり」を義務化
 経産省： 「健康経営を実践する企業が取り組むべき事項」のガイドラインを公表



※ 育児・介護休業法改正の義務化対象 健康経営を実践する企業が取り組むべき事項（経営者向けガイドラインより）

「介護両立支援」の現状

企業の半数以上が従業員の実態を把握しておらず、経営における介護両立支援の優先順位が低くなっている

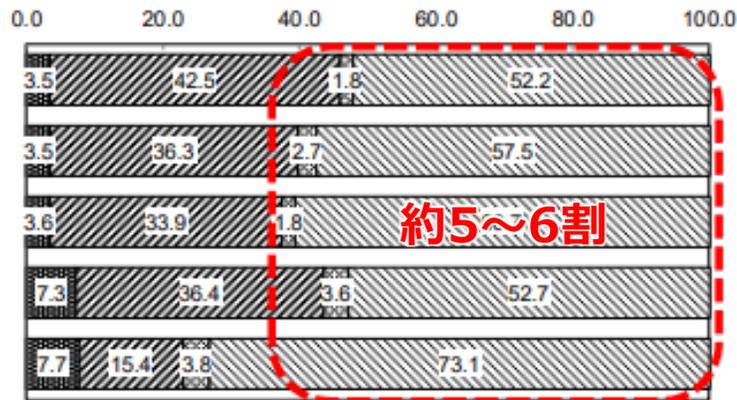
→法定内容は整備しているが、ワーキングケアラーが求める支援とのずれが発生

出所：経済産業省における介護分野の取組について 240313修正 (mhlw.go.jp)

《介護両立実態の把握状況》

- 全従業員分の状況を把握している
- ▨ 一部従業員分の状況を把握している
- 把握していないが、1年以内に把握する予定がある
- 把握しておらず、把握する予定もない

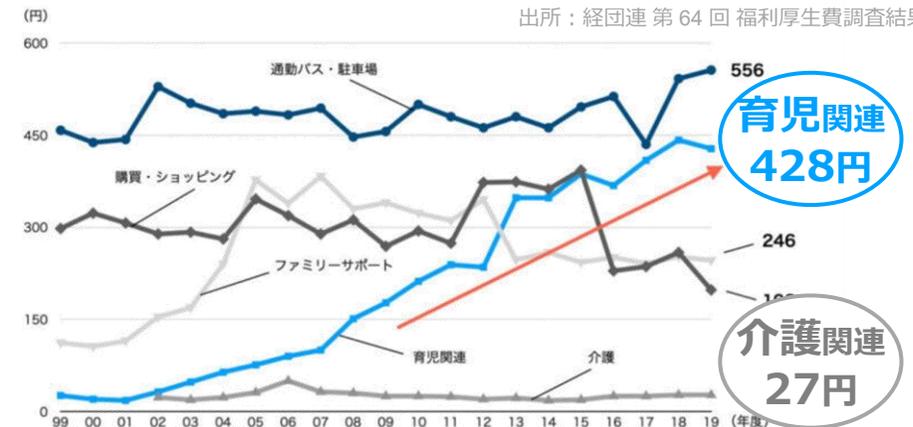
1. 介護が必要な親族の人数



企業の半数以上が実態を把握していない

《従業員一人あたりの法定外福利厚生費の推移》

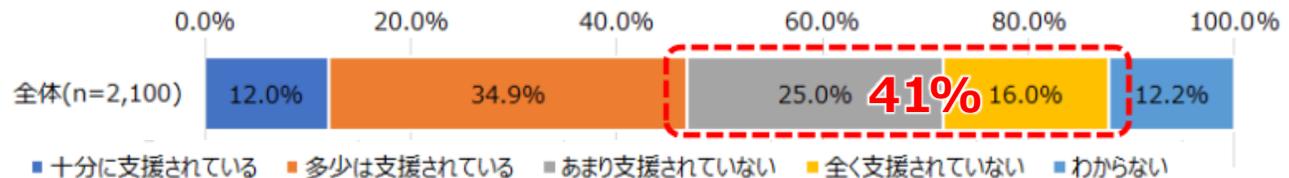
出所：経団連 第64回 福利厚生費調査結果報告



年々伸長している育児と比較して、介護は横ばい

《従業員の意識》 介護をしながら長期的に働き続けるために、勤務先から十分に支援されていると思うか？

従業員の4割が支援されていないと感じている

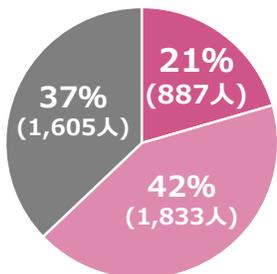


NTTデータの介護両立の実態（自社調査8,650サンプルより）

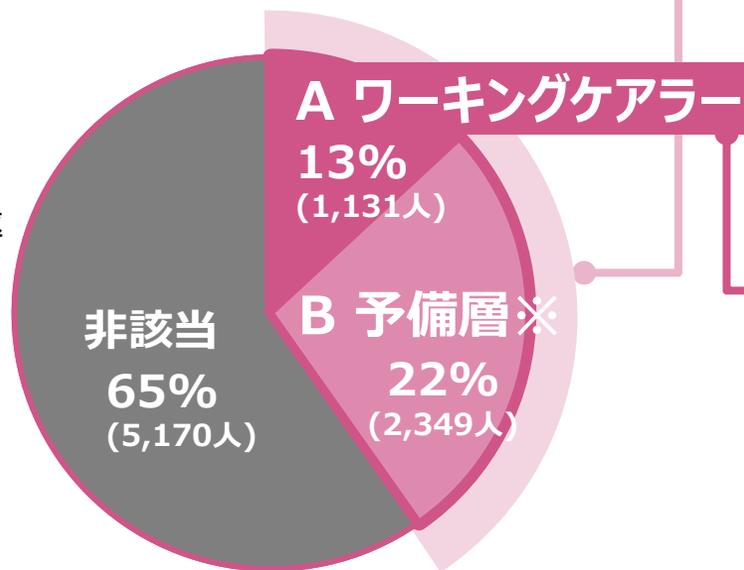
国内従業員の35%（3,480名）、40代以上従業員の63%がワーキングケアラー層に該当

ワーキングケアラー比率（N=8,650）

40代以上のケアラー比率
(N=4,325)



※予備層：5年以内に親のサポートが必要となる層



ワーキングケアラー層 (A+B) 3,480 人 (35%)

- ケアラー層の78%は40代以上、33%は管理職

経済損失額（試算値） 46 億円/年

- ケアラーの55%が「仕事への影響が大きく、働き方を変更する必要あり」と回答
 - ☞ ケアラーの「生産性低下」に伴う損失額：33億円
 - ☞ ケアラーの「離職」に伴う損失額：13億円

※経産省の年間損失額試算ロジックに、実態調査結果などを設定して算出
「労働生産性」は経産省試算で使用された大企業・製造業の1,460万円を設定
出所：仕事と介護の両立支援に関する経営者向けガイドライン 001268178.pdf

NTTデータグループ国内従業員の「仕事と介護の両立にかかる実態調査」（2024年6月）
対象者数：14,187人、回答数：9,040人（63.7%）、有効回答数：8,650人

NTTデータの「介護両立支援」の現状

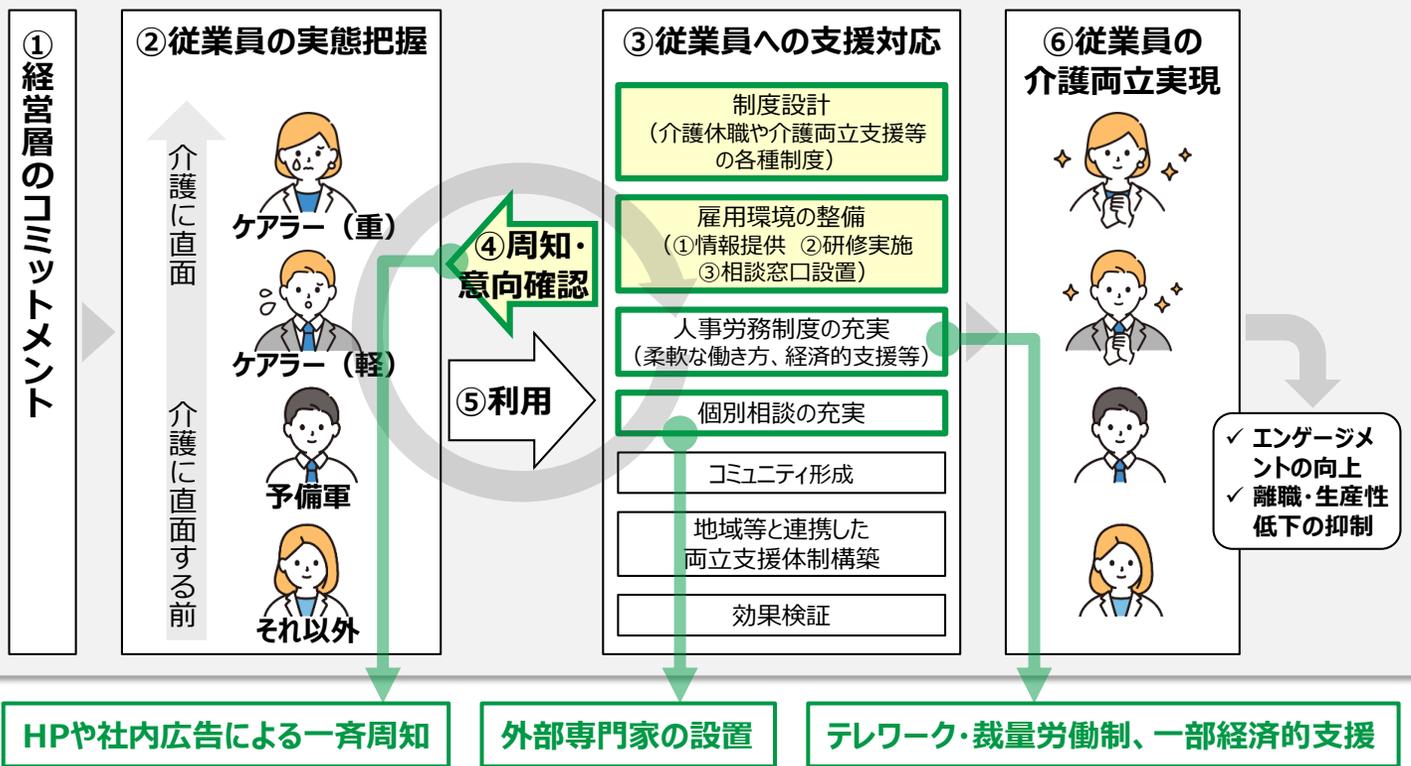
NTTデータグループ国内社員の「仕事と介護の両立にかかる実態調査(2024年6月)」
対象者数：14,187人、回答数：9,040人 (63.7%)、有効回答数：8,650人

法定内容（一部上回る内容）は整備済み。

従業員個々の視点からは周知方法や支援内容に課題があり、あまり利用されていない

既存の取組状況

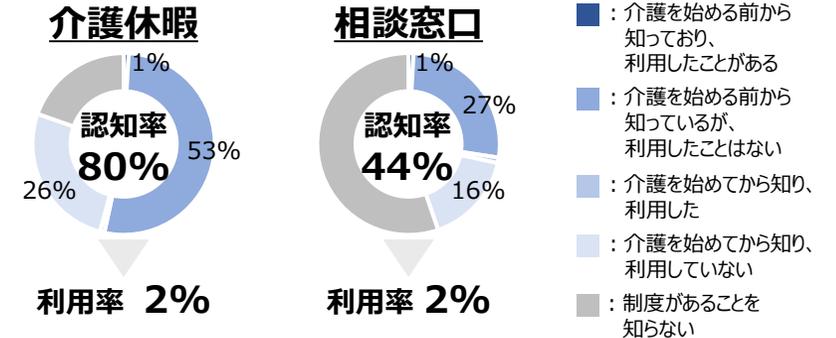
※ 育児・介護休業法改正の義務化対象 NTTデータの既存取組の対象



実態調査の結果より

ケアラーの33%が「介護両立を今後継続できない可能性がある」と回答

ケアラーの制度認知率と利用率



従業員の声

【周知方法】

・仕事と介護の両立が必要となった場合の情報を色々発信されても頭に入りきらない。

【支援内容】

・今の制度は、日々お客様対応をしている現場では使えない。
・社内HPで紹介されている窓口でメール相談を行ったが、一般的なサイトでも得られる情報提供程度で有効ではなかった。

〈参考〉ワーキングケアラーMさん（50代・管理職）の場合

2023年12月上旬

つい最近まで元気だった
広島在住の両親が、
同じタイミングで疾病発症



父：86歳
皮膚がん

母：81歳
変形性股関節症

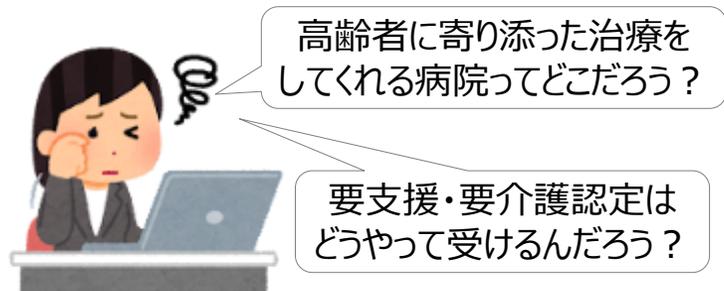
家庭も仕事もあるので、
里帰りするわけにはいかない。
両親を東京に呼び寄せて、
治療を受けさせるしかない



子：54歳
東京在住の会社員

2023年12月中旬～1月上旬

右も左も分からない中、
両親の環境整備に四苦八苦。
終業後に寝る間を惜しんで情報収集



ようやく見つけた近所の賃貸物件。
高齢者は事故物件になるリスクが
あるからと、契約寸前で断られた…



2024年1月中旬～

裁量労働ワークスタイルを駆使しながら、
両親の食事手配、買物、病院付添等に
追われる日々



- ✓ 病院付添：
半日かかり週2回程度
- ✓ 様子伺い&買物等：
平日夕方や週末



病院付添がある日は
仕事を休まざるを得ず、
職場に迷惑かけて
申し訳ない…



親が幸せそう
だから、
ま、いっか…

自分の時間って
なんだっけ？

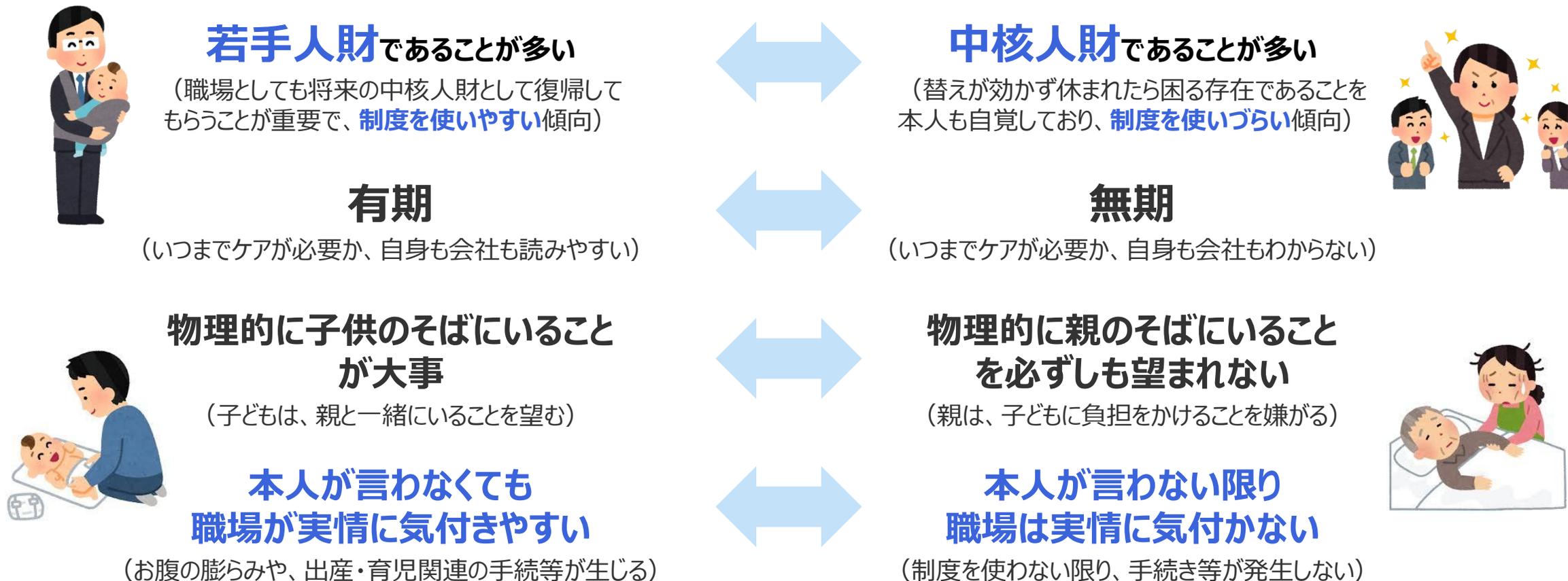


〈参考〉インタビューから得た気付き：育児両立と介護両立の違い

「家族のケア」という観点で育児と介護は横並びで扱われがちだが、対象者の特性や抱える課題が異なる

育児と仕事の両立

介護と仕事の両立



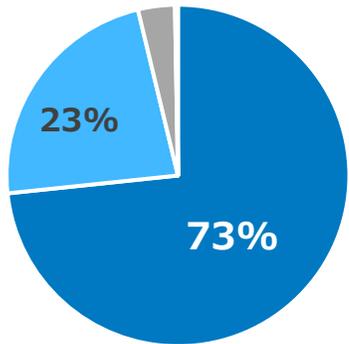
※本内容は、NTTデータ社員約100人のデプスインタビュー等を通じて得た心証をまとめたものであり、その正当性を主張するものではありません。

〈参考〉従業員の反応（NTTデータ実態調査より）

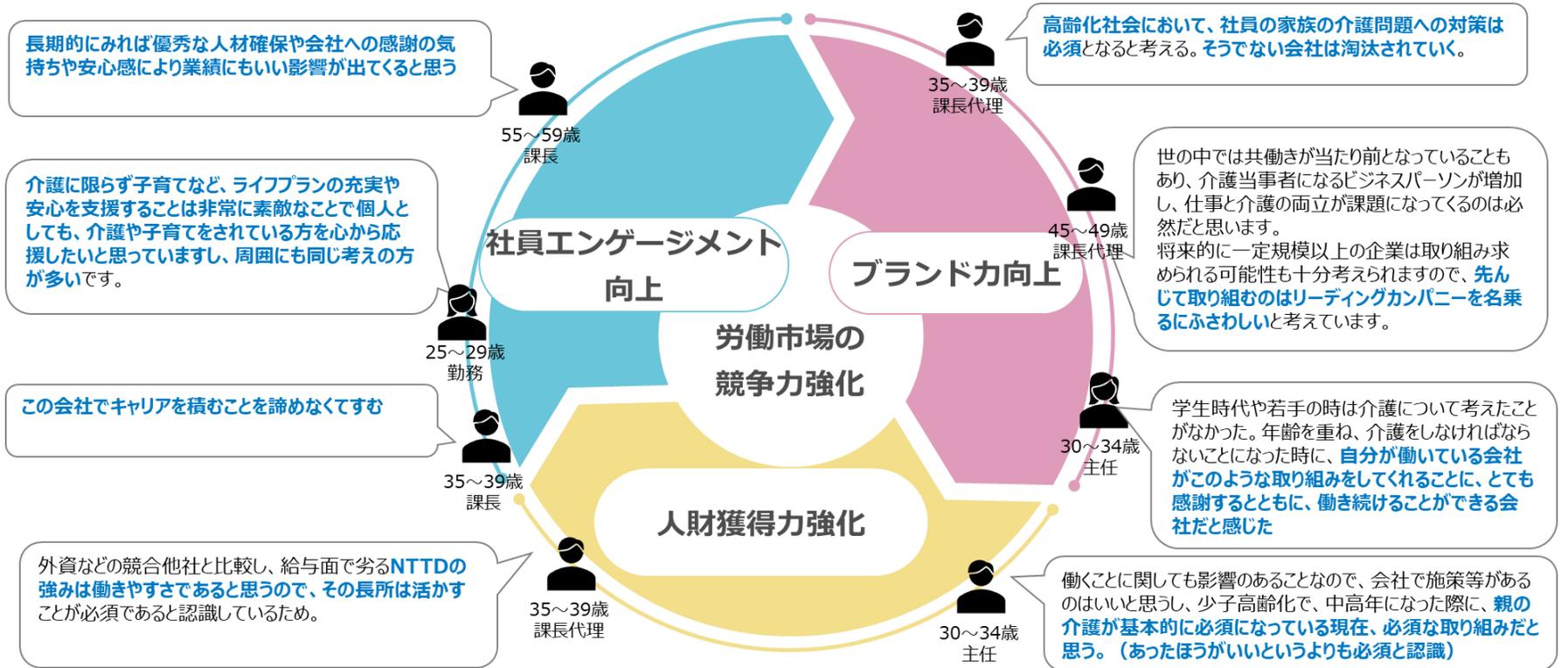
年齢に関係なく、「会社の積極的な姿勢が、従業員エンゲージメント向上や人財獲得力の強化に繋がる」との声多数

会社が介護両立支援に取り組むことに対する当社従業員の評価

96%が高評価



- とても良いと思う
- 良いと思う
- どちらとも言えない
- 良いと思わない
- 全く良いと思わない



NTTデータグループ国内従業員の「仕事と介護の両立にかかる実態調査」（2024年6月）
 対象者数：14,187人、回答数：9,040人（63.7%）、有効回答数：8,650人

02

CARE la CARE

のサービス概要



企業の介護両立支援の制度・施策等を活性化し、
従業員ひとりひとりが介護をしながら安心して働き続けられる環境を整えます

AsIs

- ✓ 法定内容は整備している
- ✓ 一方で、介護両立ステータや困りごと・悩みが異なる従業員個々に必ずしも届いておらず、認知率・利用率ともに低い



- 従業員個々が安心して働き続けられる環境になっていない

介護もキャリアもうまくいく

CARE la

CARE ケアラ
ケア

企業の制度・施策等を活性化する
“周辺の仕組み”を提供

- ① 従業員の実態把握
- ② 従業員個々へのフィードバック
- ③ 従業員への支援対応
- ④ 介護に直面した従業員への個別支援対応

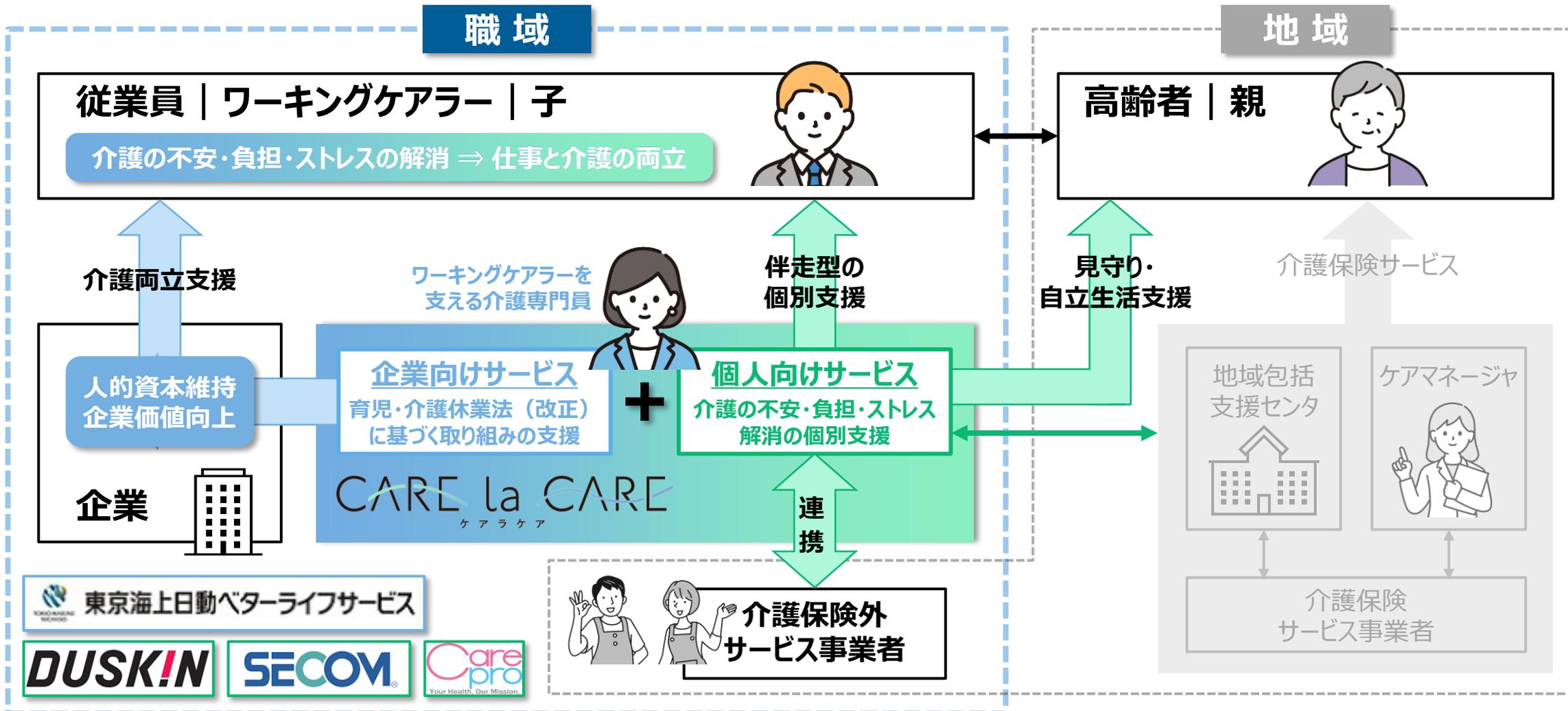
ToBe

- ✓ 従業員の介護実態を踏まえて制度・施策等の設計・見直しを図れる
- ✓ 従業員個々が自分の状態や適した制度・施策等を認識し、必要時に活用できる
- ✓ 企業による制度・施策だけでは問題解決できなかった従業員も救済できる



- 従業員個々が安心して働き続けられる環境が整っている（介護両立実現）
- 従業員のエンゲージメントが高まり、介護離職・生産性低下を抑制できる
- 企業価値が向上する

さまざまなパートナー事業者とともに、企業の介護両立支援の取り組みを通じて、従業員ひとりひとりが介護をしながら安心して働き続けられる環境づくりをサポート



「ケアラケア」のサービス構成

介護もキャリアも
うまくいく

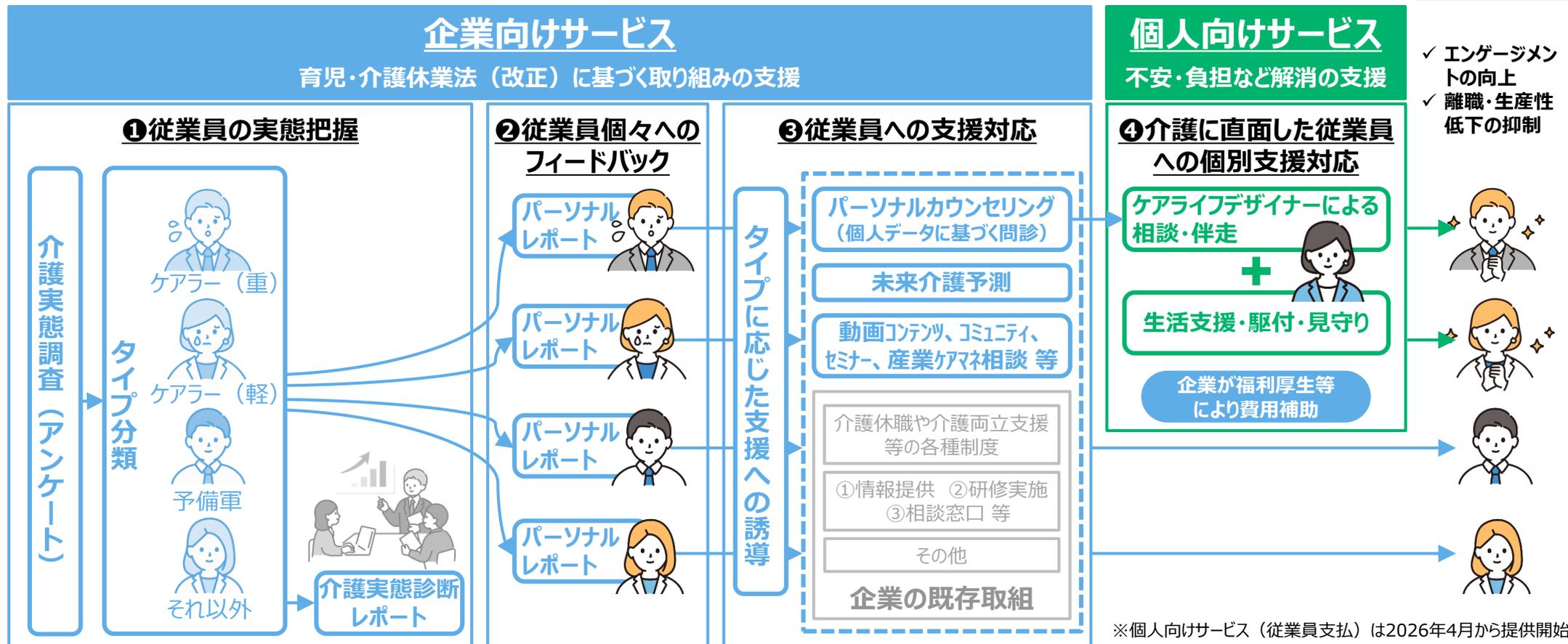
企業向けサービス（育児・介護休業法（改正）に基づく取り組みの支援）と、
個人向けサービス（介護の不安・負担・ストレス解消の支援）を一気通貫でご提供します

STEP 1 従業員の介護両立実態を把握し、
制度・施策の設計・見直しを図る

STEP 2 従業員個々の介護に対する
意識・行動変容を促す

STEP 3 介護に直面した従業員個々が安心して
働き続けられる環境づくりを支援する

従業員個々の
介護両立実現



企業向けサービス（企業支払）

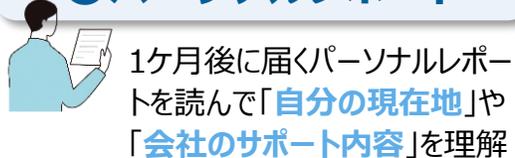
不安・迷い

① 介護実態調査



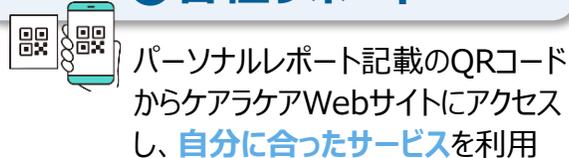
理解・気づき

② パーソナルレポート



行動・安心

③ 各種サポート

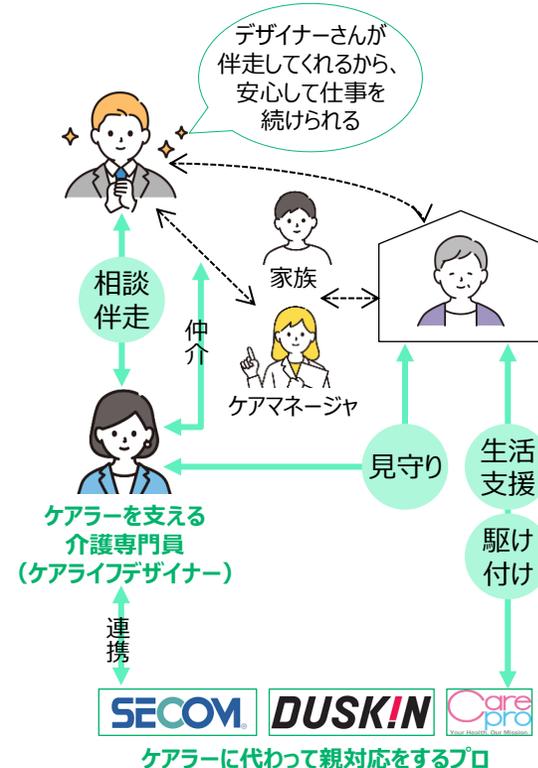


個人向けサービス（個人支払）※

行動・前進

個人向けサービス

ワーキングケアラーに寄り添い支える介護専門員（ケアライフデザイナー）がパートナー事業者とともに、ケアラーの介護の不安・負担・ストレス解消をお手伝いします。



介護に直面



ケアラー（重）

このままだと仕事を続けられないかも...



ケアラー（軽）

親が急に倒れてどうすればいいかわからない！



予備軍

最近親が老け込んだ気がする。大丈夫かな...

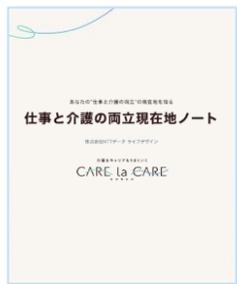


それ以外

親の介護はまだまだ先の話

● 仕事と介護の両立現在地ノート

介護実態調査の回答結果に基づきひとりひとりに作成されたパーソナルレポートをお届けします。



ひとりで悩まずに専門家に相談してみよう！



会社にこんな制度や施策があるんだ！



● 未来介護シミュレーション

Web上で全6問に答えると、短期・中期・長期の自分に起きるであろう介護の課題や注意点が提示されます。



● パーソナルカウンセリング

介護専門員が悩みや困りごとを傾聴して状況・課題を整理し、介護の不安・負担・ストレスの解消方法をアドバイスします。



※そのほか、介護の基礎知識を学べる「動画コンテンツ」や、介護専門員のファシリテートのもとで従業員同士が介護の悩みや愚痴、相談などをざっくばらんに会話する「対話会」などをご提供します。（※対話会は別途周知予定）

※企業は個人を特定できない集計データを活用して、介護両立支援の経営判断や制度設計などを行います。



【現状課題】

制度・施策は整えているものの、介護両立ステータや困りごと・悩みが異なる従業員ひとりひとりに必ずしも届いていない



介護両立支援担当者

育児・介護休業法改正に基づき、介護両立支援の取り組みはいろいろやっているけれど、認知度が上がらず、利用がなかなか進まない



✓ いろいろ発信されても頭に入りきらない



✓ いざという時に、どこに情報があるのか分からない

介護両立ステータ異なる従業員たち

CRM的手法※による意識・行動変容の促進(きっかけサポート)

介護実態調査の回答結果に基づき、従業員ひとりひとりを独自モデルによりタイプ分類し、タイプに応じたCRM的アプローチによって意識・行動変容を促すことで、支援の機会を逃さない仕組みをご用意しています。

Step-1 個々の状況把握

調査に回答



CARE
la
CARE

Step-2 意識・行動変容のきっかけ作り

パーソナルレポート受領



自分の現在地や活用できる会社の制度・施策を理解

Step-3 制度など活用の活性化

制度・施策を活用



個々の動きをモニタリングし、動きがない従業員に対してタイプに応じたリマインドなどを実施

回答結果に基づき、個々をタイプ分類
回答結果およびタイプ分類に基づき、個々にレポートを作成



※「CRM的手法」とは、データを活用して、ひとりひとりに合った情報やサービスを届け、継続的にフォローする仕組みのことです。

企業が制度・施策を整えているにもかかわらず、多くのワーキングケアラーが誰にも相談できず、親の介護に奔走しています。NTTデータの2024年度実態調査では、既存の相談窓口について、「一般的なサイトでも得られる情報提供程度で有効ではなかった」という声が多数挙がりました。ケアラケアでは、「ワーキングケアラーをどう支えるか」を基本軸として、ワーキングケアラーに寄り添い支える介護専門員（ケアマネージャや社会福祉士などの有資格者）が、従業員の介護の不安・負担・ストレス解消をお手伝いします。

サポート1

パーソナルカウンセリング（企業向けサービス）

介護専門員がオンライン面談で、従業員の「仕事を続けながら介護をすること」に関する不安・負担・ストレスの内容を確認して状況・課題を整理し、**仕事と介護を両立させるために必要なサポートの度合いを評価して具体的な解決策を提案**します。従業員は面談後に届く「**カウンセリング結果レポート**」を参考に、自分の今の状態を確認し今後の方針を検討することができます。

※本サービスを利用したことやその内容についてはプライバシーに十分配慮し、企業に対して個人を特定できる情報は報告しません。

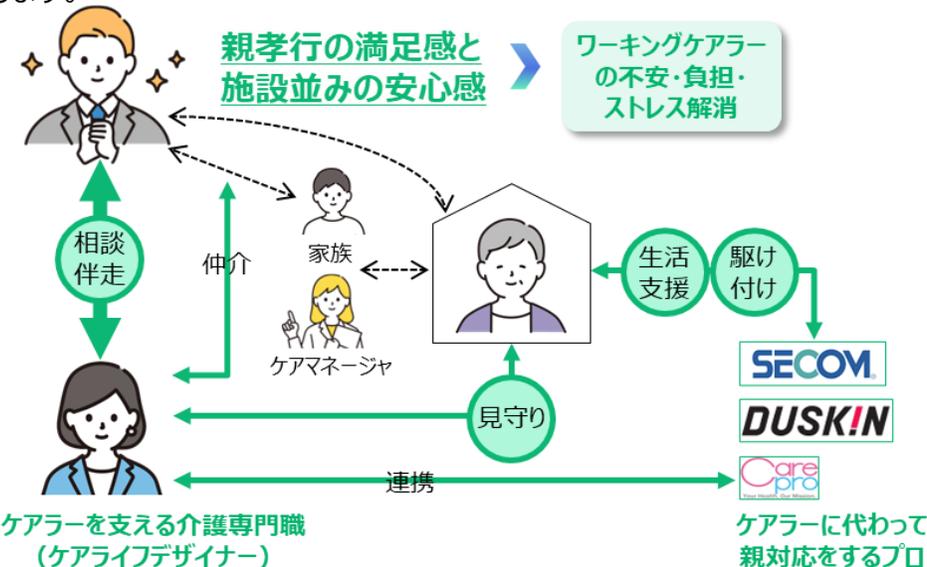
●サービスの流れ



サポート2

個人向けサービス

ケアライフデザイナー（介護専門員）が中心となり、パートナー企業（高齢者サポートのプロ）とともに、AI・IoT・人の力を組み合わせた相談伴走・生活支援・駆け付け・見守りなどにより、**従業員の介護の不安・負担・ストレス解消の“提案”から“実行”まで伴走**します。



※個人向けサービス（従業員支払）は2026年4月から提供開始予定です。

ケアラーの声から生まれた個人向けサービスが、介護に直面する従業員の不安・負担・ストレス解消をお手伝いします

これまでの選択肢

〈1〉自宅で家族が丸抱え



〈2〉施設で専門職員にお任せ



さらに、施設入所は高額

(入居一時金 約3百万円、月額費用 約15~30万円)

高齢者の多くは
「**自宅で暮らしたい**」



- 終末期を「自宅で過ごしたい」と答えた人は54.6%
- 「特別養護老人ホームなどの福祉施設で過ごしたい」と答えた人は4.5%
- 施設が合わず、数か月で自宅に戻る割合は2~3割

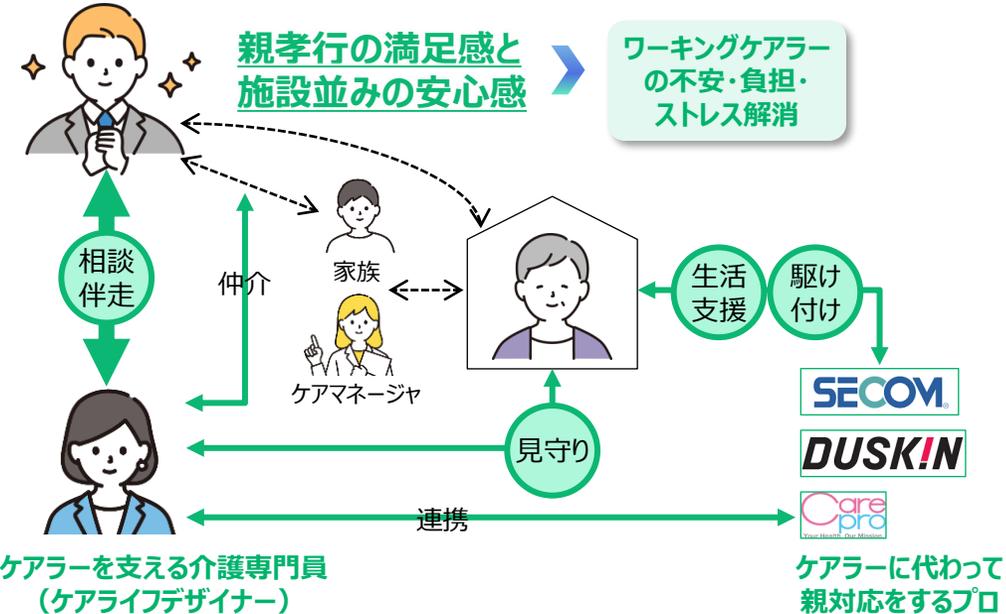
※引用元：
終末期医療のあり方に関する検討会の設置について

新たな選択肢：ケアラケア個人向けサービス

〈3〉自宅で施設並みの安心感



ケアライフデザイナー（介護専門員）が中心となり、高齢者サポートのプロとともに、**あなたの仕事と介護の両立を支えるサービス**です。AI・IoT・人の力を組み合わせた相談伴走・生活支援・駆け付け・見守りなどを、あなたの状況に合わせてセレクトすることで、**あなたの介護の不安・負担・ストレス解消**をお手伝いします。

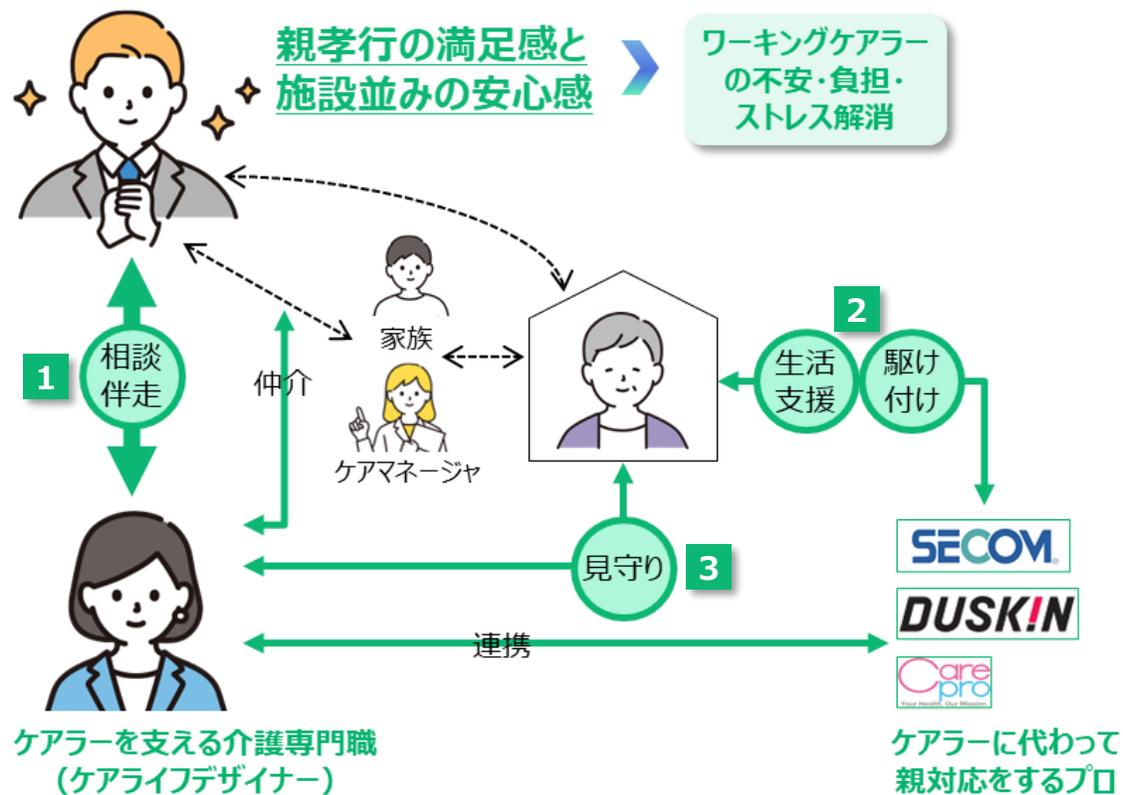




Appendix

“ワーキングケアラーの声”から生まれた個人向けサービスの概要

ケアライフデザイナーが中心となり、高齢者サポートのプロとともに、あなたをサポートします



ケアライフデザイナーは、あなた（ワーキングケアラー）に寄り添い支える介護専門員。「ワーキングケアラーをどう支えるか」を基本軸として、あなたの不安・負担・ストレスの解消をお手伝いします。

1 相談・伴走



「なんとなく親の衰えが気になるけど、何から手を付ければいいのか分からない」「自分ひとりで仕事をしながら親の対応を続けるのは、これ以上無理」ひとりで抱え込まなくても大丈夫。ケアライフデザイナーが専門的な視点から、あなたが抱えている「仕事を続けながら介護をすること」への不安・負担・ストレス解消の“提案”から“実行”まで伴走します。（メール・オンライン面談）

2 生活支援・駆け付け



「誰かに親のサポートを代わってほしいけど、お願いできる人がいない」そんな時に頼れるのが生活支援・駆け付けサービスです。高齢者サポートのプロがあなたに代わって、家事代行、通院・外出付き添い、駆け付けなど、親御さんを支えます。

3 見守り



親の様子や変化に気付けない不安。ケアライフデザイナーが親御さんに定期的に声をかけ、日常の様子を見守ります。親御さんが安心できる距離感で寄り添いながら、ちょっとした変化のサインも専門的にチェックして、あなたに共有します。

ケアライフデザイナーが、あなたの介護の不安・負担・ストレス解消の“提案”から“実行”まで伴走します



なんとなく親の衰えが気になるけど、
何かから手を付ければいいのか分からない



● 状況整理・アドバイス

ケアライフデザイナーが、日常のちょっとした疑問から、要介護認定の申請方法、親御さんがお住まいの地域で利用できるサービスの情報収集、そして、あなたのモヤモヤする気持ちなど、専門的な視点から何度でも相談に乗ります。

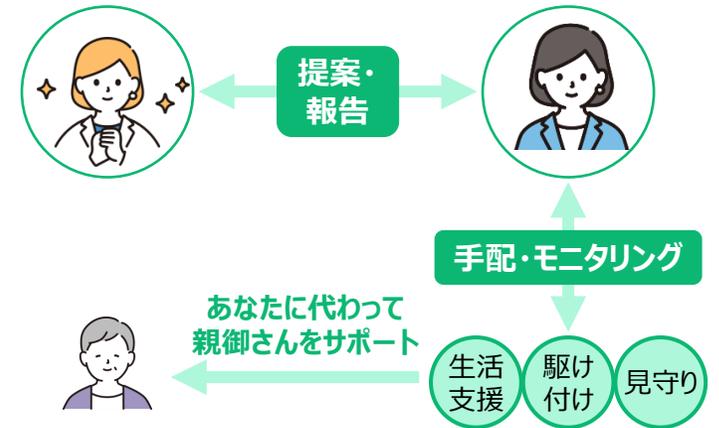


親が急に倒れてしまい、入院の手続きから保険の申請、退院後に
どうするか……。やらなきゃいけない
ことがありすぎて、何をどうしたら
いいのか分からない



● サポートサービスの提案・手配・モニタリング

ケアライフデザイナーが、あなたが仕事と介護を両立させるために必要となるサポートの度合いを確認し、解決方法を提案します。ご要望に応じて「生活支援・駆け付け」や「見守り」などのサポートサービスを手配します。
ケアライフデザイナーは、各サービスと連携してあなたや親御さんの利用状況をモニタリングし、必要に応じて見直しなどをご提案します。



自分ひとりで仕事をしながら親の
対応を続けるのはもう無理。誰かに
助けてほしい



● 家族間での合意形成やケアマネジャーとの調整をサポート

ケアライフデザイナーが、あなたと親御さんやごきょうだいの話し合いをファシリテートします。また、あなたと親御さんのケアマネジャーとの各種調整もサポートします。



誰かに代わってほしいけど、お願いできる人がいない。そんな時に頼れるのが生活支援・駆け付けサービスです

出張の間、
親の食事や洗濯が心配・・・



通院付き添いのたびに、
実家に帰るのが大変・・・



最近、物忘れが増えている。
火の消し忘れが心配・・・



DUSKIN 家事代行

家事のプロがあなたに代わって、掃除・洗濯・食事づくりなどを行います。定期利用はもちろん、「出張中だけ」「仕事の繁忙期だけ」といったスポット利用も可能です。

ご利用後には、訪問時の親御さんの様子や気づいた点をあなたにレポート。親御さんと離れている間も安心できます。

Care pro DUSKIN 通院・外出付添

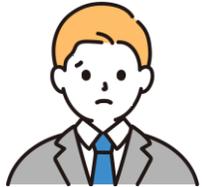
付き添いのプロがあなたに代わって、親御さんの通院や外出に付き添います。病院では診察に同席し、医師とのやり取りをあなたに報告。「先生に病状を伝えられない」「先生が何を言ったのか分からない」などの不安を解消します。日常の買物や散歩、役所や銀行での手続きのための外出なども、安心してお任せください。

SECOM 駆け付け

火の消し忘れや体調不良など、急な“もしも”のときに、親御さんのお住まいに設置されたセンサーが異常をキャッチ。駆け付けのプロが速やかに親御さんのもとに駆けつけて安全を確認します。緊急ボタンや人の動きのセンサーなどと連動して、あなたにも通知が届きます。離れていても、“すぐに気づける安心”をお届けます。

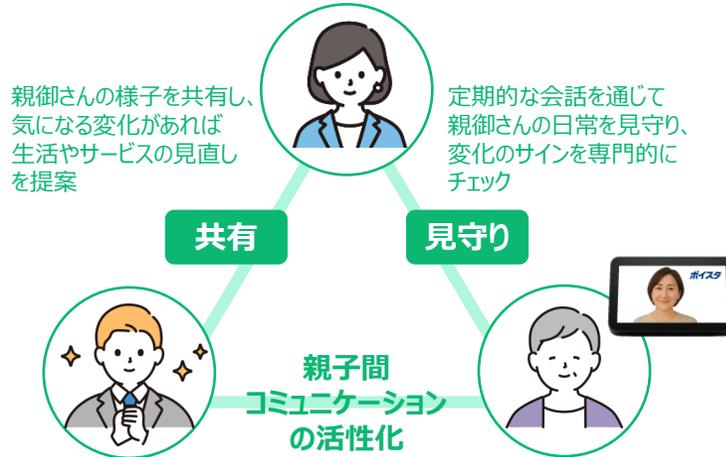
※各サービスの提供エリアは、パートナー企業（高齢者サポートのプロ）の提供エリアに準じます。
※パートナー企業の提供エリア外については、ケアライフデザイナーが親御さんの地元のサービス事業者探しをお手伝いします。

親の変化に気付けない不安。ケアライフデザイナーが親御さんの日常を見守り、あなたに共有します



- ✓ 遠方に住む親の様子や変化が気になる
- ✓ ひとり暮らしの親が孤立していないか心配
- ✓ 最近、親の言葉数が減ったり、物忘れが増えた気がするけど、本人が「大丈夫」と言うので踏み込めない

介護専門員による見守り



ケアライフデザイナーが電話や高音質スピーカーロボットなどを通じて親御さんに定期的に声をかけ、日常の様子を見守ります。親御さんが安心できる距離感で寄り添いながら、ちょっとした変化のサインも専門的にチェックします。

さらに、会話の中で「ティッシュがなくなった」「食材を頼みたい」といったお話があれば、ケアライフデザイナーがオンラインで注文を代行。日々の小さなお困りごとを解決して親御さんの生活を支えるお手伝いをします。

親御さんとのやり取りの内容はあなたにご報告し、必要に応じて、親御さんの生活リズムやサービス活用の見直しなどをご提案します。



親の様子や変化が分かる

ケアライフデザイナーが親の様子を共有してくれて、変化があれば専門的な助言をしてくれるので安心

親の孤立感を和らげられる

ケアライフデザイナーがひとり暮らしの親と定期的に会話してくれるので、自分が連絡できないときも安心

親の小さな困りごとを解決してくれる

ケアライフデザイナーがちょっとした買物を代行してくれるので、自分が対応できないときも慌てなくて済む

ちょっとした話し相手ができる

お友達と会話する機会が年々減って寂しかったので、ケアライフデザイナーが話し相手になってくれて嬉しい

気になっていることを専門家に相談できる

ケアライフデザイナーは、家族には言いづらい話を聞いてくれたり、専門的な相談に乗ってくれるので嬉しい

ちょっとした困りごとの解決を手伝ってくれる

残り少なくなり困っていたトイレトペーパーを、ケアライフデザイナーが代わりに注文してくれて助かった

